

新シリーズ 委員会メンバー便り 第 9 回 「東日本大震災から 5 年目を迎えて」

経営組織委員会
委員 佐藤 徹

引き続き「メルマガ全部協プライムニュース」におきましても、シリーズで全部協の委員会メンバーの皆様から、いろんな話題を提供して参ります。ジャンルを問わず委員メンバーの関わった事柄を自由題材に記事として提供して頂き掲載して参ります。



佐藤委員
(株)佐藤部品 宮城県

今年、東日本大震災から 5 年目を迎えました。震災の際は、宮城県の組合員部品商に対し、全部協会員様からの多くのご支援を頂きました。誠に有難うございました。

震災日に当たる 3 月 11 日には、節目の 5 年目ということで、テレビでは特番が生まれ、新聞も震災特集の記事を載せていました。震災から「もう 5 年」という思いと、「まだ 5 年」という思いがありますが、津波被災地はまだ復興途上で、身内や知り合いを亡くした方は、「まだ 5 年」の思いのほうが強いです。

東日本大震災では、津波による被害が甚大でした。当社も含む仙台市内の組合員部品商に、震災による社屋一部損壊は発生したものの津波被害はあまり有りませんでした。(社員の家が、津波流失や浸水被害、家屋全壊・半壊状態は多く発生しました) 宮城県の組合員部品商で、津波の大きな被害に遭われた部品商が 2 社あります。石巻市の石巻パーツ(株)(目黒利記社長)と(株)友善商事(小笠原博美社長)の 2 社です。震災から 5 年ということで、2 社にお話を伺いました。

◎石巻パーツ(株) 目黒社長

Q、震災当時の状況はどうでしたか?

A、当社は、石巻の東中里に会社がありますが、津波により 1.5メートル浸水し、事務所が約一週間水没しました。社屋が全壊状態のため、1ヶ月位休業状態でした。4月中旬に仮店舗に移転し、3年半そこで営業しました。2014年に社屋を新築して元の場所にもどりました。

Q、5年経過してご商売の現状はどうですか?

A、当社は、大型車のお客様が少ないので、2年位で復興需要は終了した感じです。タイヤも扱っており震災1年目の冬に大型トラックのタイヤはすごく売れました。現在は、震災の前の状況に戻っています。

Q、石巻地区の復興状態と今後のご商売の見通しはどうですか?

A、石巻市内をはじめ、堤防建設と土地の嵩上げのためダンプカーが走り回っており、道路もあち



震災から復興をはたした石巻パーツ(株)新社屋

こち工事中で、復興途中です。津波により水没した市内の整備工場も、多くが再開しており、お客様の数はあまり減ってはいません。ただし、石巻市内以外の郡部地区の被害が大きいところでは、整備工場が再開していません。今後については、被災地区の人口減少と自宅などで再開した整備工場が将来的には、廃業していきますので、あまりいい見通しとは言えません。

◎株友善商事 小笠原社長

Q、 震災当時の状況はどうでしたか？

A、 当社は、二階建ての一階天井まで浸水しました。水は二日位で引きましたが、会社の近くに水産加工会社が多く、散乱した冷凍の魚などが解凍腐敗してたいへんでした。2階に部品庫があったので、在庫部品は無事でしたが、一階の後片付けを終えて営業を再開したのが3月25日ごろです。電話は8月まで使えませんでしたので、携帯電話を使っていたの営業でした。



被災から立ち直った(株)友善商事社屋

Q、 5年経過してご商売の現状はどうですか？

A、 大型車のお客が多いので、まあまあ忙しかったのですが、昨年末あたりから大分落ち着いてきました。建設関係の車両の部品需要がまだあるようです。

Q、 石巻地区の復興状態と今後のご商売の見通しはどうですか？

A、 まだ、復興に向けてダンプカーが走り回っています。ただ近くにある石巻魚市場が昨年8月に再建されました。まだ水揚げ量が戻っていませんが、水産関係の会社が再開しています。今後は、建設関係の車両の部品需要は少なくなるので、本来の水産関係の車両整備が復活してくれればと思います。

2社の社長様にお話を聞きましたが、あの津波被害の大きさから考えると、営業の再開までには大変な困難があったと思います。特にブロードリーフのシステムが水没し、サーバーが泥まみれになりまして途方に暮れましたが、仙台のコンピュータ再生会社に、データーを復旧してもらえたことが営業再開に大きな役割を果たした様です。データーが復旧しなかったら会社を諦めたかも知れないと2社の社長とも話しておりました。大規模災害に備えたデーターのバックアップと保存をどうするかブロードリーフ社にも考えてもらいたいですね。

宮城県には、宮城県沖地震の30年周期説がありまして、東日本大震災は、1978年の宮城県沖地震から33年目に発生しました。そろそろとは思っていましたが、備えはしていませんでした。

震災後の部品商の業務再開には、システムデーターと、インフラ復活の中でも、電力とガソリンが最重要だと経験いたしました。インフラ復活後は、自動車部品需要が拡大し、業界が災害に強いと

認識しました。今は、建設関係に人手を持っていかれ、部品業界は、人手不足の事態となっております。

今後、南海トラフ地震なども予測されていますので、大規模災害に対する準備をどうしていけばいいのか、考えていただければと思います。



石巻港の復興状況